

朝鮮高校無償化 除外を許さない

毎週火曜日の正午から大阪府庁前で「無償化除外反対、補助金カット反対」の集会が開催されています。

去る八月二十日集会に参加してきました。

当日は、朝高ラグビー部をはじめ、東大阪朝鮮中級学校女子生徒等々、一〇〇名を超える子どもたちが参加して集会が行なわれました。

周知のように二〇一〇年四月に当時の政権、民

主党の目玉政策として「高校無償化制度」が施工されてから三年五ヶ月が過ぎました。

だが、今日に至っても朝鮮高級学校の生徒たちだけがこの制度から排除されています。

在日朝鮮人は一九四五年八月十五日、日本の植民地支配から解放されると、帰国する者も日本に残る者も、植民地時代に奪われた朝鮮語を取り戻そうと識字運動を積極的

に展開し、国語講習所や学校を創り、朝鮮の言葉と文字を教え、学んできました。

以来、六十八年間、民族学校として多くの人材を送り出し、今や五世が学ぶ学校になっています。

一貫しているのは、学校運営に関わって、国家から只の一度も財政的に支援を受けたことはなく、一世や、二世が身を削って学校を育て世代を超えて守ってきたことです。

このような中での「高校無償化法」であり、当然誰もが、日本人と同様に法律の適用を受けるものと思ってきました。

当時の、文部科学大臣も、国家間の問題とは切り離すとして、申請書類を受理してきた経過があります。

しかし、時の政権は、決断を先送りし、拉致問題や、韓国での潜水艦事故、砲撃事件、ミサイル、拉致問題を理由にして、結局のところ民主党政権の三年間余は、朝鮮高級学校の生徒は、適用を受けることなく卒業してきました。

すでに全国の裁判所で、

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

国に対する裁判が提起され、現在審理が行なわれています。

とりわけ大阪では、府・市は朝鮮学校の民族教育を認め、永年にわたり給付してきた朝鮮学校への「補助金」について、不当極まりない要件を突然持ち出し、二〇一一年からその給付を停止しました。

特に橋下が大阪市長になつてからは恣意的に行なわれています。

朝鮮学校に通う生徒・児童たちは、日本で生まれ育ち、これからも日本に永住していく在日の子どもたちであり、日本の生徒・児童となんら変わ

りなく、日々、勉学やクラブ活動に励んでいます。私たちは朝鮮学校の生徒たちが、なぜ差別され続けるのか、到底理解できませんし、このまま放置することはできません。

更に追い討ちをかけるようにして、昨年十二月、安倍内閣は、朝鮮学校の高校無償化制度からの排除方針を発表しました。

そして本年二月二十日、朝鮮学校の高校無償化制度からの排除を目的とする省令改訂を行なうと共に、全国全十校の朝鮮高級学校に不指定処分の通知を出しました。

国連の社会規約委員会
は、五月二十一日、朝鮮

高級学校排除を明確に「差別」と認定し、高校教育無償化プログラムが、朝鮮高校に通う子どもたちにも適用されることを確保するよう求める勧告を発表しました。

私たちは、地域から在日朝鮮人や朝鮮学校への差別を許さず共生の社会を目指していきましょう。

【追伸】

八月のはじめに朝鮮高級学校ラグビー部の菅平合宿に、飲料水をおくる



取組みに対して、多くの皆様からカンパをいただきました。

金額は、五万四千五百円でした。ありがとうございました。

八月二日、朝高ラグビー部に届けました。

ラグビー部は九月十五日大阪府大会の開幕試合イベントとして、東海大仰星高校と行います。

決勝は十一月十七日。予測では、常翔啓光学園が対戦相手になるかと思

います。
アプロハムケ N Y